

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和7年3月4日(2025.3.4)

【公開番号】特開2025-23015(P2025-23015A)

【公開日】令和7年2月14日(2025.2.14)

【年通号数】公開公報(特許)2025-028

【出願番号】特願2024-205989(P2024-205989)

【国際特許分類】

G 06 T 7/174(2017.01)

10

G 06 T 7/12(2017.01)

G 06 T 7/50(2017.01)

【F I】

G 06 T 7/174

G 06 T 7/12

G 06 T 7/50

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月21日(2025.2.21)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源から照射されて被写体によって反射された光を受光する撮像を行うことで赤外画像を取得し、

前記被写体を可視光により撮像を行うことで可視光画像を取得し、

前記赤外画像および前記可視光画像に基づいてフレア領域を検出する、

30

情報処理方法。

【請求項2】

前記フレア領域の検出では、前記可視光画像内の領域に対応する前記赤外画像内の領域に基づいて、前記フレア領域を検出する、

請求項1に記載の情報処理方法。

【請求項3】

前記フレア領域の検出では、前記可視光画像内の領域に対応する前記赤外画像内の領域の輝度に基づいて、前記フレア領域を検出する、

請求項1または2に記載の情報処理方法。

【請求項4】

前記フレア領域の検出では、前記可視光画像内の領域に対応する前記赤外画像内の領域における輝度が閾値以上であることを検出する、

請求項3に記載の情報処理方法。

【請求項5】

前記フレア領域の検出では、前記可視光画像内の領域に対応する前記赤外画像内の領域における輝度が閾値以上である場合、前記赤外画像内の前記領域が前記フレア領域であることを検出する、

請求項4に記載の情報処理方法。

【請求項6】

前記フレア領域の検出では、前記赤外画像と、前記赤外画像と同一のシーンの撮像によ

50

って生成された前記可視光画像とに基づいて、前記フレア領域を検出する、

請求項 1 に記載の情報処理方法。

【請求項 7】

前記フレア領域の検出では、前記赤外画像と、前記赤外画像と同一の視点での撮像によって生成された前記可視光画像に基づいて、前記フレア領域を検出する、

請求項 1 に記載の情報処理方法。

【請求項 8】

前記フレア領域の検出では、前記赤外画像と、前記赤外画像と同一の時刻での撮像によって生成された前記可視光画像に基づいて、前記フレア領域を検出する、

請求項 1 に記載の情報処理方法。

10

【請求項 9】

前記赤外画像の取得では、T o F (Time of Flight) を利用する、

請求項 1 に記載の情報処理方法。

【請求項 10】

前記フレア領域の検出では、

前記赤外画像と前記可視光画像とに基づいて、前記赤外画像のうち、第 1 閾値以上の輝度を有し、かつ、予め定められた条件を満たす領域を、前記フレア領域として検出する、

請求項 1 に記載の情報処理方法。

【請求項 11】

前記予め定められた条件は、前記赤外画像の領域内の画像特徴量と、前記領域に対応する前記可視光画像の領域内の画像特徴量との間の相関値が、第 2 閾値未満となる条件である、

請求項 10 に記載の情報処理方法。

20

【請求項 12】

前記赤外画像および前記可視光画像のそれぞれの領域内の画像特徴量は、前記領域内の画像に含まれるエッジである、

請求項 11 に記載の情報処理方法。

【請求項 13】

前記赤外画像および前記可視光画像のそれぞれの領域内の画像特徴量は、前記領域内の輝度である、

30

請求項 11 に記載の情報処理方法。

【請求項 14】

前記赤外画像の取得と、前記可視光画像の取得とは、固体撮像素子によって行われ、前記固体撮像素子は、前記赤外画像の撮像に用いられる複数の第 1 画素と、前記複数の第 1 画素と異なる、前記可視光画像の撮像に用いられる複数の第 2 画素とを含む、

請求項 1 に記載の情報処理方法。

30

【請求項 15】

前記赤外画像の撮像が所定のフレームレートで連続して行われる場合に、前記可視光画像の撮像時刻と前記赤外画像の撮像時刻との差は、前記フレームレートにおける 1 フレーム分の時間以下である、

40

請求項 1 に記載の情報処理方法。

【請求項 16】

プロセッサと、

メモリとを備え、

前記プロセッサは、前記メモリを用いて、

光源から照射されて被写体によって反射された光を受光する撮像を行うことで生成された赤外画像を取得し、

前記被写体を可視光により撮像を行うことで生成された可視光画像を取得し、

前記赤外画像および前記可視光画像に基づいてフレア領域を検出する、

情報処理装置。

50

**【請求項 17】**

光源から照射されて被写体によって反射された光を受光する撮像を行うことで生成された赤外画像を取得し、

前記被写体を可視光により撮像を行うことで生成された可視光画像を取得し、

前記赤外画像および前記可視光画像に基づいてフレア領域を検出する、

ことをコンピュータに実行させるプログラム。

10

20

30

40

50